

1. In the transverse section of the pericarp, the former has no stone cells, in contrast with that the latter has thick stone cell layer in the lower side of the mesocarp.
2. In the section of the seed coat, the parenchymatous cells between the epidermis and the single-layered oil cells contain no colored matter in the former, while the ones of the latter are filled with brown substance.
3. In the transverse section of the seed coat at the position of raphe, the oil cells of the former are assembled radially together with the oil cell layer, but they gather in an arc under the oil cell layer in the latter.

The comparison of the both drugs in details is shown in Table 1.

□ Hultén, E.: **Flora of Alaska and neighboring territories** (A manual of the vascular plants) 1008 pp., 8 col. pls. 1968. Stanford University Press, Stanford, California, USA. \$35.—. アラスカとその周辺のユーコン、アリューシャンおよびシベリア東端のチュクチ半島をふくむ地域のフロラがすっきりした一冊の本にまとめられた。著者はこの方面の世界的第一人者 Eric Hultén 博士 (74才) であり、40年以上にわたる労苦がこの本に結集された感じである。この地域に産する1559種の高等植物全部について、全形を示す要領のよい線画と記載、それに分布図が1ページに2種ずつ組まれている。特に分布図はこの地域内の分布と北半球全域における分布と2枚入れられており、後者は著者以外にはこれほど正確なものを作れる学者はいないと思われ非常に参考になる。巻頭にはこの地方のフロラの総説が簡潔にまとめられており、科・属への検索表があり、属の初には種への探索表がつけられ、巻末には著者名や文献のリストがある。本書には日本と関連のある植物が多くふくまれていて、日本の読者が座右におくべきものであると同時に、今後のフロラの新しい形式を示す好著である。

なお著者が1941—50年アラスカのフロラを出版した以後の意見の変更や問題点については、Comments on the flora of Alaska and Yukon という題で Arkiv f. Bot. II, 7: 1-147 (1968) に述べられており、一諸に見るとこの間の事情がよく理解できる。

(原 寛)